

# 参考資料

## 武蔵野市子ども自然体験事業一覧

事業名	担当課名	対象者	指導者等	事業のねらい	実施時期	実施内容
むさしのジ ャンボリー	子ども家庭部 児童青少年課	小学4～6年 生	地域の大人及び 中・高生サブリ ーダー	生身の体験に欠ける子どもたち が、自然の中で多少の不便をしのぎ ながらの生活やハイキング等を通じ、 野生を扱い、たくましさを身につける。 地域の異年齢児童や大人との交 流を促進する（地域コミュニティの強 化）。	夏休み前半	長野県川上村の市立自然の村 を拠点に、2泊3日のキャンプ 生活。ハイキング、川遊び、キ ャンプファイヤー、野外炊事な ど
遠野市との 児童交流	子ども家庭部 児童青少年課	小学4～6年 生	小学校教諭	遠野市との児童交流事業として 遠野市の児童には都市生活体験 をさせる。 本市の児童には伝統文化と農村 生活体験をさせる。	秋の連休 (H15年度)	友好都市の岩手県遠野市に2 泊3日で小学生を派遣し、曲り 屋に宿泊し、民話等の伝統文 化と農村生活体験をする。
ハバロフス ク 自然交流使 節団	子ども家庭部 児童青少年課	中学生・高校 生	ハバロフスク市 の野外生活指導 者	ロシアの大自然の中での観察や体 験を通して環境保全の意識向上 ロシア人とのキャンプやホームステ イから青少年の国際交流を進める。	夏休み(隔年)	ロシアの大自然の中でのパー ドウォッチングやキャンプ等の 野外生活とハバロフスク市での ホームステイを体験する(7泊8 日)。
鳥取県家族 ふれあい長 期自然体験	子ども家庭部 児童青少年課	18才以下の 子どもとその 家族	宿泊先の地元 の方が農作業等 の指導をした	都会では体験出来ない虫取りや農 作業などの田舎の生活を体験させる 親子と一緒に長時間行動すること により家族の絆を深める。 地方の活性化	夏休み 後半	自然が残る鳥取県で、親子が 長期間(5泊6日)一緒に農作 業や虫取りなどの田舎生活を 体験する。
親子棚田体 験	子ども家庭部 児童青少年課	18才以下の 子どもとその 家族	小国町の農家 の方	稲作の作業を通じて、米作りを理 解する。 親子と一緒に作業することにより、 家族の絆を深める。 過疎の農村の活性化 棚田の保護や環境に対する意識を 向上させる。	5月、7月、10月 の3回実施	新潟県小国町の棚田を借り上 げ、地元農家の方の指導の もと、家族で田植え・草取り・稲 刈りの米作りを体験する。
自然の村天 体観望会	子ども家庭部 児童青少年課	中・高生 及び親子	外部講師	宇宙への興味・関心を深めてもら うことにより、地球の自然環境を考 えるきっかけとしてもらう。	6月・8月10月 の土日1泊、計3回	寄贈された500ミリ口径の大型 望遠鏡を利用し、観望会をおこ なう。
夏休みジュ ニア・スキ ンダイビング	スポーツ振興 事業団	小学3年生 ～中学生	現地指導員	スキューバダイビングの基礎を習得 するとともに、海洋実習により、海 の生物等に興味を持ってもらう。	夏休み	連続4日間で開催し、スキュー バダイビングと海洋実習を行う。

事業名	担当課名	対象者	指導者等	事業のねらい	実施時期	実施内容
親子ミニミニジャンボリー	子ども家庭部 子ども家庭課	3歳以上の就学前の子どもとその家族	市職員	親子で自然体験し、家族（特に父親）の絆を深め、子育ての楽しさを実感させる。 同世代の子育て家族と交流し、情報交換の場を作る。	8月下旬	幼児とその家族を対象に富士高原ファミリーロッジを利用し、牧場見学や野外炊事を行い自然とふれあいの場を持つ（1泊2日）。
親子どろんこ体験	子ども家庭部 子ども家庭課	就学前の子どもとその家族	市職員	親子で一緒にどろんこ体験をして、家族（特に父親）とのふれあいの機会を提供する。	平成14年11月実施（市制施行55周年記念事業）	幼児とその家族を対象に、北町農地を利用して親子でどろんこ体験（芋掘り）をする。
移動教室	教育部 指導課	小学6年生	教職員	日光の歴史・地形・交通・名所・植物などについて、現地で実際に見たり聞いたりしながら学習する。 先生・友達と団体生活をしながら、愛情や友情を深める。 大自然の中で遊び生活し、心身をきたえ、生活をより楽しく豊かにする。	6月～9月	奥日光において、ハイキング、社会科見学など。2泊3日で実施。
セカンドスクール	教育部指導課	小学5年生及び中学1年生	教職員及び学習・生活指導員	豊かな自然並びに地域の特性を生かした学習教材及び学習方法を工夫することを通し、子どもたち一人一人が課題解決的な学習を進めることにより、ファーストスクールにおける学習と相まって学習成果を高める。 自然体験、農林漁業体験、共同生活体験等の多様な体験学習活動並びに多くの人々との出会い及び交流を通し、子どもたちの個性豊かな人間成長を図ること並びに自立に必要な知識及び技能を身につけさせるとともに、それらを生かし自ら創意工夫する態度を育てる。 恵まれた自然環境の中での長期間のゆとりある宿泊体験を通し、豊かな情操をはぐくむとともに、協調性及び連帯意識に基づく豊かな人間関係を育てる。	5月下旬～10月上旬	長野県・富山県・群馬県・千葉県・山形県・新潟県において、小学校は6泊7日～9泊10日、中学校は4泊5日、学校単位で実施。農林漁業体験や登山等の自然体験、郷土料理・伝統工芸体験、民宿・農家泊などを行う。
姉妹都市交流 利賀村訪問	教育部指導課	小学6年生	教職員	姉妹都市関係にある利賀村と武蔵野市との信頼と友情を深めるため、市立小学校の代表が利賀村を訪問し、交流を深める。	7月21日～24日頃（3泊4日）	市立小学校6年生の代表が利賀村を訪問し、岩魚つかみやそばの種まきなどを行うほか、利賀小学校との交流を行う。
プレセカンドスクール	教育部指導課	小学4年生	教職員及び学習・生活指導員	セカンドスクールでの学習効果をより高めるために実施する。 4年生で宿泊を伴う体験学習を行うことにより、5年生でのセカンドスクールに向けての意欲を高める。 5年生でのセカンドスクールにおける学習課題の発見につながる活動をする。 （4・5年同一実施地の場合）実施地に慣れ、地域の人々と2カ年にわたる交流をする。	9月上旬～10月下旬	H15年度は4校が、静岡県・群馬県・長野県・東京都西多摩郡にて2泊3日で試行実施。農業・林業・酪農体験やハイキングなどを行う。H16年度は10校にて試行、H17年度より本格実施予定。
土曜学校 森林体験教室	教育部生涯学習スポーツ課	小学1～6年生（初級） 小学5年生～中学3年生（中級）	NPO法人 森づくりフォーラム	自然を身近なものとして感じ、自然の中での楽しさ（一面としての厳しさ）を知り、自然への関心を持つ。 身近に行われている林業があることを知り、林業の持つ意味を考える。	5月～10月	初級は、1日森を探検し、植物を探したり、木を切ったり、木に登ったりする。 中級は、全4回のコースで、木を切り、切った木を使って、森の中に基地づくりをする。

事業名	担当課名	対象者	指導者等	事業のねらい	実施時期	実施内容
土曜学校 アニマルフ ァーム	教育部生涯学 習スポーツ課	小学4年生 ~中学3年生	日本獣医畜産大 学の教員及び学 生	牛や馬の世話をすることで、生き物の 世話の大変さとそれに応えてもらった ときの充足感を体験し、生きていると いうことの意味や、動物間の親子の絆 等を考える。	5月~10月	富士山麓の牧場に1泊2日 で行き、牛馬の世話、ひつじの毛 刈りなどの牧場体験のほか、乗 馬やソーセージ・バター作りな どの体験をする。
遠野市家族 ふれあい自 然体験	教育部生涯学 習スポーツ課	18才以下の 子どもとその 家族	宿泊先の地元 の方が農作業等 の指導をする	都会では体験出来ない虫取りや農 作業などの田舎の生活を体験させる 親子が一緒に長時間行動すること により家族の絆を深める。 地方の活性化	夏休み 後半	自然が残る遠野市で、親子が 長期間(4泊5日)一緒に農作 業や虫取りなどの田舎生活を 体験する。
親子野あそ びクラブ	野外活動セン ター	小学生と保護 者	むさしの自然史 研究会	完全学校週5日制における土曜日の 自由な時間を活用し、自然体験や 自然観察の機会を提供するために、小 学生とその保護者を対象とした事業 を実施する。	年間8回	河原の生きもの 磯の生き もの 山の生きもの 自然な んでも相談室 身近な自然 雑木林の生きもの 白鳥ウオッ チング 河口の生きもの
自然クラブ	野外活動セン ター	小学5年生 ~18歳	むさしの自然史 研究会	野鳥、昆虫、植物、天体等、自然の 仕組みを理解し、環境問題等にも関 心を引き起こし、自然を大切にす る心をもつ青少年を育成する。	年間事業	総合体育館での室内学習、川 上村、豊科町等でのキャンピ ングワーク、日帰りの野鳥、昆 虫、植物等の観察、標本作り
親子自然体 験教室	むさしの・ 多摩・ハバロフ スク協会	小・中学生と 保護者	森林インストラ クター及び協会委 員	親子で竹や木の間伐作業を体験し、 森林などの自然観察を通して、自然 の持つ重要な役割を理解する。	春・秋2回	神奈川県丹沢湖畔のフィール ドで民有林の間伐と竹を利用し た炭作りや、木登り・秘密基地 作りなどを行う
ハバロフスク 冒険キャン プ	むさしの・多摩 ハバロフスク協 会	中学生~30 才	現地指導員及び 協会委員	シベリア原生林の中でキャンプ、川下 り等を通じて現地の人たちと交流を 図りながら、自然の豊かさ、厳しさ、森林 の保全、あるいは資源の活用の意義 を体感する。	夏休み	10泊11日にわたり、アムール 川の支流をキャンプで自炊をし ながら約300km川を下る。
ファミリーキ ャンプ	野外活動セン ター	小学生と保護 者	キャンプカウン セラー	参加した家族やグループが自然の素 晴らしさを学び、親子のふれあいと参 加者同士の親睦を図る。	夏休み後半	長野県川上村の市立自然の村 を拠点に、2泊3日のキャン プ生活。ハイキング、川遊び、キ ャンプファイヤー、野外炊事な ど
親子体験キ ャンプ	野外活動セン ター	小学生と保護 者	キャンプカウン セラー	本格的なキャンプの入門編として、キ ャンプの基礎知識を学ぶ。	7月前半	富士高原学園で1泊2日のキ ャンプを行い、野外炊事や木工 クラフトなどを体験する。
はじめての サーフィン	野外活動セン ター	中学生以上	現地指導員	湘南の海でサーフィンをしたくても機 会に恵まれなかった希望者にきつ かけを提供する。	9月	実技の前に天気図による波の 予想や気象の条件など基本的 な講義を受講した後、サーフボ ードの使い方を講習する。
スノーキャン プ	野外活動セン ター	小学6年生~ 中学生	現地指導員及び キャンプカウン セラー	異なった年齢の青少年が団体生活を 通じてコミュニケーションを深めな から、スキーを中心とした雪国のあそ びを体験する。	春休み	2泊3日にわたり、野沢北竜湖 のスキー場を会場に日中は現 地スキー指導員に夜スキー講 習、夜はカウンセラーの指導に よる各種レクリエーションに参 加する。
市民探鳥会	野外活動セン ター	親子、子ど も、大人	武蔵野自然史研 究会講師	身近な場所に飛来してきている渡り 鳥を中心に野鳥観察をたのしむ。	1月	井之頭公園で、野鳥観察を行 う。

事業名	担当課名	対象者	指導者等	事業のねらい	実施時期	実施内容
石割山、黒川鶏冠山、小川山、大菩薩峠、越前岳、矢倉岳、幕山、入笠山への登山	野外活動センター	中学生以上	山岳連盟講師	山登りを通して、自然の雄大さを体験してもらう。	年間	日帰りまたは、一泊2日で、様々なレベルの登山を行う。
関前公園（トンボ池掻振り調査）	緑化環境センター	子どもと大人	緑化環境専門委員及びボランティア	トンボ池のヘドロの除去と水生植物の整理及びビオトープの自然生態系を壊す移入種（アメリカザリガニ・ブラックバス等）の捕獲し、移動する作業を子どもたちと実施。また、作業をとおして身近な自然体験と環境学習を行なう。	夏休み最初の日曜日（年1回）	年1回、夏休み期間中の休日を利用し、親子で作業に参加してもらう。
二俣尾・武蔵野市民の森	緑化環境センター	子どもと大人	武蔵野自然塾スタッフ	森林資源を活用した様々な自然体験、山菜料理の提供等を内容とした行事の開催を通じて、荒廃しつつある多摩の森林の現状を、多くの市民に理解してもらう。	年3回程度	動植物の観察、ネイチャーゲーム、草笛講習、昼食（山菜料理、流しそうめん、キノコ鍋、ニジマスの塩焼きなど）
学校ビオトープ整備事業	緑化環境センター	小学1～6年生	学校の先生	市内の自然生態系ネットワークを形成するとともに、身近な自然とふれあい環境教育の場として活用する。	通年	各学校の自主的活動となっている。

# 参考資料

## ジャンボリー参加児童の推移

	年度	1989	1990年	1991年	1992年	1993年	1994年	1995年	1996年
		年							
第一地区	参加数	100	95	119	124	107	90	93	126
	生徒数	357	347	342	326	308	300	270	270
	参加率	28.0	27.4	34.8	38.0	34.7	30.0	34.4	46.7
第二地区	参加数	101	106	94	88	79	118	64	109
	生徒数	362	352	328	324	291	290	283	288
	参加率	27.9	30.1	28.7	27.2	27.1	40.7	22.6	37.8
第三地区	参加数	53	103	95	82	104	96	85	64
	生徒数	308	313	282	296	293	297	279	249
	参加率	17.2	32.9	33.7	27.7	35.5	32.3	30.5	25.7
第四地区	参加数	108	108	111	86	90	86	109	102
	生徒数	369	360	346	317	301	290	272	258
	参加率	29.3	30.0	32.1	27.1	29.9	29.7	40.1	39.5
第五地区	参加数	123	82	75	99	76	73	76	58
	生徒数	284	270	266	264	259	248	241	251
	参加率	43.3	30.4	28.2	37.5	29.3	29.4	31.5	23.1
大野田地区	参加数	134	143	109	123	76	98	75	106
	生徒数	490	462	436	427	431	399	397	349
	参加率	27.3	31.0	25.0	28.8	17.6	24.6	18.9	30.4
境南地区	参加数	136	137	118	115	118	138	107	141
	生徒数	413	383	350	326	324	317	320	313
	参加率	32.9	35.8	33.7	35.3	36.4	43.5	33.4	45.0
本宿地区	参加数	110	80	99	97	112	105	91	79
	生徒数	265	228	231	217	218	207	183	180
	参加率	41.5	35.1	42.9	44.7	51.4	50.7	49.7	43.9
千川地区	参加数	103	90	118	78	98	81	73	59
	生徒数	208	208	232	194	189	176	179	172
	参加率	49.5	43.3	50.9	40.2	51.9	46.0	40.8	34.3
井之頭地区	参加数	129	118	119	96	95	112	112	83
	生徒数	363	327	275	256	239	240	237	239
	参加率	35.5	36.1	43.3	37.5	39.7	46.7	47.3	34.7
桜野地区（境北+桜堤）	参加数	167	174	182	129	113	117	117	82
	生徒数	380	339	315	266	247	253	231	222
	参加率	43.9	51.3	57.8	48.5	45.7	46.2	50.6	36.9
関前南地区	参加数	92	86	72	83	78	66	81	80
	生徒数	151	154	159	161	156	150	161	165
	参加率	60.9	55.8	45.3	51.6	50.0	44.0	50.3	48.5
全地区	参加数	1,356	1,322	1,311	1,200	1,146	1,180	1,083	1,089
	生徒数	3,950	3,743	3,562	3,374	3,256	3,167	3,053	2,956
	参加率	34.3	35.3	36.8	35.6	35.2	37.3	35.5	36.8

	年 度	1997 年	1998 年	1999 年	2000 年	2001 年	2002 年	2003 年
第一地区	参加数	94	112	103	141	119	121	108
	生徒数	268	248	219	228	214	232	215
	参加率	35.1	45.2	47.0	61.8	55.6	52.2	50.2
第二地区	参加数	123	116	104	113	133	148	151
	生徒数	255	262	237	248	239	230	222
	参加率	48.2	44.3	43.9	45.6	55.6	64.3	68.0
第三地区	参加数	70	57	87	77	83	73	80
	生徒数	238	217	220	220	223	213	203
	参加率	29.4	26.3	39.5	35.0	37.2	34.3	39.4
第四地区	参加数	95	59	75	71	83	89	75
	生徒数	246	233	219	204	210	232	223
	参加率	38.6	25.3	34.2	34.8	39.5	38.4	33.6
第五地区	参加数	59	63	53	61	73	56	61
	生徒数	246	233	222	205	192	173	175
	参加率	24.0	27.0	23.9	29.8	38.0	32.4	34.9
大野田地区	参加数	92	98	73	129	190	152	156
	生徒数	327	332	306	300	320	334	330
	参加率	28.1	29.5	23.9	43.0	59.4	45.5	47.3
境南地区	参加数	111	116	129	119	124	116	159
	生徒数	321	283	286	265	279	271	315
	参加率	34.6	41.0	45.1	44.9	44.4	42.8	50.5
本宿地区	参加数	71	77	98	87	86	55	43
	生徒数	175	172	164	175	154	137	115
	参加率	40.6	44.8	59.8	49.7	55.8	40.1	37.4
千川地区	参加数	86	86	81	74	94	88	73
	生徒数	166	151	156	170	176	168	159
	参加率	51.8	57.0	51.9	43.5	53.4	52.4	45.9
井之頭地区	参加数	99	83	56	74	69	69	80
	生徒数	239	219	215	222	226	218	199
	参加率	41.4	37.9	26.0	33.3	30.5	31.7	40.2
桜野地区（境北+桜堤）	参加数	72	101	103	90	63	64	69
	生徒数	204	214	215	213	186	189	186
	参加率	35.3	47.2	47.9	42.3	33.9	33.9	37.1
関前南地区	参加数	69	71	68	67	70	71	76
	生徒数	155	148	126	130	132	137	148
	参加率	44.5	48.0	54.0	51.5	53.0	51.8	51.4
全地区	参加数	1,041	1,039	1,030	1,103	1,187	1,102	1,131
	生徒数	2,840	2,712	2,585	2,580	2,551	2,534	2,490
	参加率	36.7	38.3	39.8	42.8	46.5	43.5	45.4

## 参考資料

学年別ジャンボリー参加率の推移 (%)

地区	学年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年
第一地区	4年生	66.1	64.0	50.8	57.8	62.0
	5年生	57.1	68.1	67.9	51.6	49.4
	6年生	25.3	60.3	44.9	47.1	38.1
第二地区	4年生	60.5	51.2	67.1	60.9	77.2
	5年生	40.7	59.7	46.3	7.7	67.2
	6年生	30.0	28.1	53.8	48.2	59.2
第三地区	4年生	45.1	46.7	33.3	53.7	59.0
	5年生	27.9	31.6	43.8	22.5	43.5
	6年生	44.4	33.3	34.6	28.0	19.2
第四地区	4年生	66.7	42.5	48.6	55.8	37.3
	5年生	20.5	37.9	28.8	35.9	45.3
	6年生	20.0	29.2	41.5	23.4	19.8
第五地区	4年生	36.0	46.3	35.4	41.1	52.7
	5年生	9.6	35.9	41.5	33.3	21.1
	6年生	25.7	11.0	37.8	22.2	31.7
大野田地区	4年生	46.7	60.2	65.5	48.7	65.7
	5年生	15.1	51.6	62.9	43.5	48.7
	6年生	13.6	19.2	49.0	44.3	28.8
境南地区	4年生	50.0	61.7	48.5	52.1	60.9
	5年生	40.9	56.4	53.5	49.5	50.5
	6年生	44.0	24.4	31.9	25.0	36.2
本宿地区	4年生	63.6	68.3	75.6	57.5	61.8
	5年生	61.1	43.9	49.2	35.9	22.5
	6年生	54.5	44.8	48.1	31.0	31.7
千川地区	4年生	47.3	54.0	44.6	46.2	53.1
	5年生	51.9	52.8	65.5	52.0	37.7
	6年生	57.1	33.3	50.9	60.4	49.0
井之頭地区	4年生	32.8	34.9	27.5	35.8	58.2
	5年生	29.2	32.9	36.9	31.8	26.6
	6年生	17.1	29.0	26.0	28.2	35.3
桜野地区(境北+桜堤)	4年生	73.6	55.6	30.6	46.1	56.1
	5年生	36.8	26.4	43.5	19.2	44.9
	6年生	32.8	51.3	28.0	31.1	3.9
関前南地区	4年生	73.7	61.0	50.0	55.3	56.9
	5年生	42.9	72.5	50.0	40.8	38.8
	6年生	48.7	44.9	59.1	61.0	58.3
全地区	4年生	53.9	50.8	48.7	50.8	59.3
	5年生	34.3	43.3	49.7	42.9	43.2
	6年生	32.2	30.4	41.2	36.8	33.7

# 資 料

## 武蔵野市子ども自然体験委員会設置要綱

### (設置)

第1条 武蔵野市の子どもたちの自然体験のあり方及び、その具体的方策について検討し、武蔵野市第四期基本構想・長期計画に反映するため、武蔵野市子ども自然体験委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

### (任務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について審議し、その結果を市長に報告する。

- (1) 武蔵野市の子どもたちの自然体験のあり方に関する事項
- (2) 自然体験の具体的な方策に関する事項
- (3) 前2号に掲げるもののほか、自然体験に関し必要な事項

### (構成等)

第3条 委員会は、別表に掲げる委員をもって構成し、市長が委嘱する。

2 委員会に委員長及び副委員長各1人を置き、委員の互選によりこれを選出する。

3 委員長は、会務を統括し、委員会を代表する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

### (設置期間)

第4条 委員会の設置期間は、平成16年6月10日までとする。

### (会議)

第5条 委員会の会議は、必要に応じて委員長が招集する。

2 委員会が必要と認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、説明若しくは意見を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

### (事務局)

第6条 委員会の事務局は、子ども家庭部児童青少年課及び教育部教育企画課が合同で行う。

### (その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会について必要な事項は、市長が別に定める。

### 付 則

この要綱は、平成15年12月15日から適用する。

### 付 則

この要綱は、平成16年6月1日から適用する。



別表（第3条関係）

委員氏名	職	備考
梅田 彰	NPO武蔵野自然塾理事長	武蔵野市専門委員
石井 雅幸	九段小学校教諭	自然クラブ指導員、 野外活動センター運営委員
安藤 栄美	むさしの・多摩・ハバロフスク協会理事	青少協本宿地区常任委員
川住 昌光	日本政策投資銀行	第四期サラリーマン会議委員、 ジャンボリー地区指導者
鈴木 恒雄	市立第四小学校教諭・生活指導主任	
高石 好子	主任児童委員	公募委員
永田 秀樹	「岳人」前編集長	
宮寄 純子	武蔵野市PTA連絡協議会会長	
藁谷 久雄	NPO法人国際自然大学校長	キャンプカウンセラー指導者

# 資 料

## 武蔵野市子ども自然体験委員会審議経過

	日 時	場 所
第 1 回委員会	平成 15 年 12 月 15 日 (月) 18 時 30 分 ~ 20 時 30 分	市役所 5 階 教育委員会室
第 2 回委員会	平成 16 年 1 月 20 日 (火) 18 時 30 分 ~ 21 時 00 分	武蔵野公会堂 第 4 会議室
第 3 回委員会	平成 16 年 2 月 9 日 (月) 18 時 30 分 ~ 20 時 30 分	武蔵野市民会館 第 1 学習室
第 4 回委員会	平成 16 年 3 月 4 日 (木) 18 時 30 分 ~ 21 時 00 分	武蔵野公会堂 第 1 会議室
第 5 回委員会	平成 16 年 4 月 7 日 (水) 18 時 30 分 ~ 21 時 00 分	武蔵野公会堂 第 1 会議室
第 6 回委員会	平成 16 年 5 月 10 日 (月) 18 時 30 分 ~ 21 時 15 分	商工会館 市民会議室
第 7 回委員会	平成 16 年 6 月 10 日 (木) 18 時 30 分 ~ 20 時 30 分	商工会館 第一会議室

発行 平成16年6月  
印刷 武蔵野市子ども家庭部児童青少年課  
〒180-8777  
武蔵野市緑町2-2-28  
0422 60 1853